

戦後生れが半分の世の中で



高令者大学講座始まる

「いないと困る年寄になろう」

八手をかえた今年の高令者大学の開校式が、去る四月二十七日公民館で開催された。男子五十九名、女子四十名入学された。今回は八十名が出席された。

山崎公民館長のあいさつあり、本県の社会教育、公民館活動の先鞭者、増井三郎氏(加茂市)から、高令者大学の意義について講演をしていただきました。その中から、いくつか拾ってみます。

①昔は、村内のごさえ知ってれば生きていけた。日本人は、日本のごさえ知ってればよかったです。ところが今はどういわけにはいかなくなっている。この若い人からおとしりをみれば、高令者はもの忘れが多く、みなり

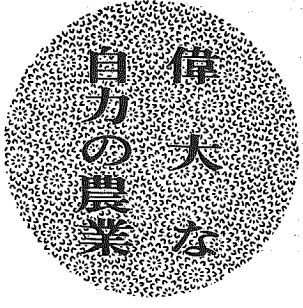
②いよいよ時代です。ながいきをして極楽をするにはおとしりの努力が必要です。今、仮りに家庭から高令者を、五段階に分けて考えてみます。

③いよいよ時代です。ながいきをしたから幸福とはいえない時代です。ながいきをして極楽にするにはおとしりの努力が必要です。

④いよいよ時代です。ながいきをして極楽にするにはおとしりの努力が必要です。

⑤いよいよ時代です。ながいきをして極楽にするにはおとしりの努力が必要です。

講演会が終わってからは、懇談会です。一般の大学とちがって酒をくみかわしながら、また今年も頑張りましょう、とお互いに励みあいながら開校式を終りました。



中国訪問記

横越下 茅原新一 (50才)

以下二十五名は、バスの中から農地を見ながら天安門へ向きました。北京空港から北京市内へ通ずる幅広い大通りの道の両端には、アカンヤや揚柳ポプラ等、数種類の樹が幾層にも植えられています。その間からたまに見える文字といえば、「全世界人民大団結万歳」「為人民服務」という政治的スローガンのみで、社会主義のこの国は、日本のような商業広告はない。この後、日本農業、農地改革、政治経済を興にして、今後の日本農業、農地改革、農地改革を極めて参りなりました。

市内に入ると、天安門広場に近づくにつれて、北京民族飯店に到着しました。それから五日間私達は、「農学会」及び「人民公社」「毛主席記念堂」「故宮」「万里の長城」「明の十三陵」「地下遊」「友誼商店」を視察しました。

私が農民の立場で見た中国と日本農業は大違いであります。中国は現在も大きく変化しつつあります。私達が視察した人民公社等は、中国でも優等生であったかもしれません。



今回、農地改革第二訪中団員として、中国を視察して来ました。

二月二十一日、羽田を出発して北京へ着いたのが、夜の九時頃でした。人民公社解放軍が警備する北京空港で、佐野団長(亀田土地改良理事長)

したがって、私の見聞したことから、中国農業一般を想像することは不適当であると思えますが、十五日間という短い期間に見聞した中国農業は、政治経済を興にして、今後の日本農業、農地改革、農地改革を極めて参りなりました。

人民公社の数は、五万一千で平均的人民公社は十五の大

美しい花を咲かせるには

サツキ盆 特徴のある花を多く咲かせた。花の両方を鑑賞できる。よい花、というところが五月二十一日「さつき作り講習会」を開催しました。

市、三〇才)をお願いし、底白、覆輪、④立派な盆栽を作る楽しみ。樹上に色々、⑤品種を集める楽しみ。⑥さし芽をしてふやす楽しみ。等いろ／＼教えていただきました。

参加者は二〇名あまりでし、原則は自分の樹で実習などもやり楽しい講習会でした。



人民公社で働く女性(22才 独身)

人民公社は村役場のようなもの

ところで、中国農業生産の基本組織である人民公社は、単なる経済組織でなく、農業のみならず「工業、商業、教育、保健、文化、軍事」を総合的にまとめた運営であり、いわば村役場のようなものであります。

人民公社の数は、五万一千で平均的人民公社は十五の大

隊と、百の生産隊からなっており、戸数は三千三百戸、人口は二万五千人、耕地面積は二、〇〇〇畝というのが平均規模のようです。

又人民公社は、土地改革の後、隣り近所の農民をまとめた協同作業組織であり、私の土地を合作社(日本では農協)に出資の形で提供し、共同耕作をし、土地に対する配分をなくし、労働を基盤として配分が行なわれる、と聞いていました。

高令者大学と 連合婦人会が交流

第1回会 運動

三十一日、午後から、横越中学校体育館において、村の連合婦人会を開催した。第一回目の運動会(六月二日付の日報に掲載)を行った。

お年寄りの体力が多少の程度にもかかわらず、皆元気に参加された。足の不自由な人はジャングレンで、チャンピオンおける老人を決める競技にでいていただいた。参加者は高令者約八十名、婦人会七十名余であった。

横越小の 草取り

広い校庭から、横越小の草取りを実施しをもつ横越た。(九〇余名参加) 小は、次が、若い時、農業経験を持つ人が多く、たけに一時間は取りはえてくれる。じまたら、たちまちきれいに草取り作業になった。

うまいお茶をいただいた。お茶、さらに仕事に精を出す。

高令者大学 作業をみて、校長先生は「いやあ、子ども達にやらせ、上中、下中、子ども達にやらせ、川根谷地部、たつともこんなになりませ落が中心) 今日みなさん方のごと連合婦人 好意を子ども達に話して、教育のなかに生かしていただきます。五月十九日、自らも草をとりながらの午後、喜んでくれました。

公民館からお願い

公民館へ乳児検診や各種の集客に車で行かれる方は、今後駐車場を利用して下さい。

公民館の裏や公民館の事務室前に多く置かれる方がありますが、ゴミの清掃車や検診車が来る時等、なにかと支障をきたします。よりよく協力させていただきますようお願いいたします。

新潟の本を 読みませんか

県立新潟図書館から、6月の自動車文庫(みずほ号)がやってきます。

いろいろな本を満載してやってきます。めったにない機会です。みんなで借りて来て下さい。

6月22日 午後1時頃 横越村公民館

能登で集える 高校生の集い

◎期日 七月二十四日―二十七日

◎研修の趣旨 野外活動を通して、心身を鍛え、友情を深めるとともに、グループ活動を進めるため、リーダーとして必要な基礎的知識技術及び態度について研修する。

◎対象者及び人員 高等学校生徒一五〇名

◎参加希望者は六月十五日(水)公民館まで申し込んで下さい。

◎参加費三、五〇〇円位

謙遜の自然に 親しむ若人の 集い

◎期日(期間) 七月十七日―二十一日

◎対象 職場、青年団、グループのリーダー及び学校等の指導者

◎募集人員 六十名

◎研修の趣旨 自然に親しみながら、野外レクリエーション、オリエンテーリング、キャンプ、集団登山等の野外活動を効果的に展開するために必要な知識、技術、及び態度について研修する。